

久喜市いちょうの木 事業報告

久喜市の定める条例に基づき、関係法令を遵守し、社会福祉法人啓和会の理念と整合性を図りながら、運営規程に定める目的を達成するために以下の事業を実施しました。

1. 利用状況と職員体制（平成 29 年 3 月 31 日）

(1) 利用定員の充足

定員 40 名 現員 42 名（男性 28 名、女性 14 名）

※今年度の入退所者はいませんでした。

(2) 利用者の状況

①年齢構成

| 年齢 | ～19 | 20～24 | 25～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60～ | 平均 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 男性 | 0 | 1 | 1 | 17 | 6 | 2 | 1 | 37.3 |
| 女性 | 0 | 0 | 3 | 5 | 3 | 3 | 0 | 38.4 |
| 計 | 0 | 1 | 4 | 22 | 9 | 5 | 1 | 37.6 |
| % | 0 | 2.4 | 9.5 | 52.4 | 21.4 | 11.9 | 2.4 | 100.0 |

②障害程度区分

| 区分 | 区分 3 | 区分 4 | 区分 5 | 区分 6 | 計 | 平均区分 |
|----|------|------|------|------|-----|------|
| 男性 | 0 | 9 | 3 | 16 | 28 | 5.3 |
| 女性 | 1 | 4 | 2 | 7 | 14 | 5.1 |
| 計 | 1 | 13 | 5 | 23 | 42 | 5.2 |
| % | 2.4 | 30.9 | 11.9 | 54.8 | 100 | 5.2 |

③療育手帳及び身体障害者手帳の所持状況

| | 療育手帳 | | | | | 計 | 身体障害者手帳 | | | | | | 計 |
|----|------|------|-----|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | ㊤ | A | B | C | なし | | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | なし | |
| 男性 | 21 | 7 | 0 | 0 | 0 | 28 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 22 | 28 |
| 女性 | 10 | 3 | 1 | 0 | 0 | 14 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 9 | 14 |
| 計 | 31 | 10 | 1 | 0 | 0 | 42 | 6 | 3 | 1 | 1 | 0 | 31 | 42 |
| % | 73.8 | 23.8 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 100 | 14.3 | 7.1 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 73.8 | 100 |

④利用率の状況

| 月別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 開所日数 | 21 | 20 | 22 | 21 | 22 | 21 | 21 | 21 | 20 | 19 | 20 | 23 | 251 日 |
| 延利用人数 | 809 | 743 | 838 | 806 | 795 | 796 | 800 | 788 | 746 | 743 | 773 | 902 | 9,539 人 |
| 利用率 % | 96.3 | 92.3 | 95.2 | 94.6 | 90.3 | 94.8 | 95.2 | 93.8 | 93.3 | 97.8 | 96.6 | 98.0 | 95.0% |

(3) 職員体制

| 職 種 | 配置人数 | 備 考 |
|-------|------|-------------------|
| 施 設 長 | 1 | サービス管理責任者兼務 |
| 主任支援員 | 3 | 相談支援専門員兼務（1名） |
| 生活支援員 | 14 | 常勤職員 11名、非常勤職員 3名 |
| 看 護 師 | 1 | 法人内他事業所兼務 |
| 栄 養 士 | 1 | 法人内他事業所兼務 |
| 事 務 員 | 1 | |
| 運 転 手 | 2 | |
| 計 | 23 | |

2. 利用率の向上

昨年度に比べ利用率の低下が見られました。（平成 27 年度 97%、平成 28 年度 95%）

理由については、①女性 1 名の長期入院 ②短期入所を定期的に利用する利用者の増加が上げられます。

3. 基本事業

(1) 日常生活支援（移動、着脱衣、排泄、食事、歯磨き、清掃の支援介助）

個別支援計画に基づき状態の変化に対応しながら取り組みました。とりわけ、加齢による体力・機能面の低下が顕著に見られる人が増えてきていますので、環境面や活動面での工夫と介護技術等の向上が今後の課題となっています。

(2) 社会生活支援

①作業活動（資源回収、下請作業、自主生産）

下請け作業については、安定した納入と特性に応じた作業内容だったため、意欲的に取り組むことができました。今年度は、自主製品の製作を重点的に取り組み、作業工賃収入の向上につながりました。

工賃収入実績は、下表の通りです。

| 支給日 | 8月10日 | 12月9日 | H29年4月10日 | 年間合計 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 支 給 額 | 297,360 円 | 297,740 円 | 181,452 円 | 776,552 円 |
| 平均支給額 | 4,937 円 | 7,089 円 | 4,320 円 | 16,346 円 |
| 最高支給額 | 5,427 円 | 8,019 円 | 4,720 円 | 18,166 円 |
| 最低支給額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |

②体験活動（創作、サークル、外食、買い物等外出、小旅行）

- ・新しい取り組みとして、表現活動の取り組みを行いました。埼玉県障害者アートネットワークに参加し、利用者の作品を応募したところ高い評価を受け 2ヶ所で展示されました。
- ・サークル活動や小旅行等については、計画通り実施しました。

ア、サークル活動

| サークル名 | 活 動 内 容 |
|-----------|---|
| つくる・クッキング | おやつづくり・季節行事に合わせた創作品づくり |
| ヒーローズ | DVD鑑賞・ヒーローショーの練習と発表 |
| ダンス | 色々な曲目に合わせ、思い思いに踊ったり、グループでひとつの作品となるようにダンスを行った。 |
| うごく | 散歩、室内外での運動（野球・サッカー・ゲームなど） |
| チャレンジ | 絵画・おやつづくり・じゃが芋堀り・カードづくりなど |
| 音楽 | カラオケ・ダンス楽器演奏など |
| スポーツ | 野球・バトミントン・相撲・バレーボール・テーブル卓球など |

イ、小旅行（葛西臨海水族園）

| 月 日 | 利 用 者 | 職 員 | ボランティア |
|------------------|-------|-----|--------|
| 平成 28 年 9 月 9 日 | 10 名 | 5 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 9 月 23 日 | 11 名 | 5 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 9 月 30 日 | 10 名 | 6 名 | 0 名 |
| 平成 28 年 10 月 7 日 | 10 名 | 6 名 | 1 名 |

ウ、社会体験外出

| 月 日 | 内容・行き先 | 利 用 者 | 職 員 |
|-------------------|-------------|-------|-----|
| 平成 28 年 7 月 22 日 | 行田忍城 | 4 名 | 3 名 |
| 平成 28 年 8 月 10 日 | 鴻巣防災学習センター | 4 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 9 月 2 日 | 佐野アウトレット | 4 名 | 3 名 |
| 平成 28 年 10 月 14 日 | 宇都宮動物園 | 3 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 11 月 11 日 | 宇都宮動物園 | 4 名 | 3 名 |
| 平成 28 年 11 月 18 日 | 宇都宮動物園 | 3 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 11 月 25 日 | 羽田空港 | 5 名 | 3 名 |
| 平成 28 年 12 月 2 日 | 上野駅周辺 | 3 名 | 2 名 |
| 平成 28 年 12 月 9 日 | 上野駅周辺 | 3 名 | 2 名 |
| 平成 29 年 1 月 12 日 | 北本グリコピアイースト | 4 名 | 2 名 |
| 平成 29 年 1 月 17 日 | 北本グリコピアイースト | 4 名 | 3 名 |

③地域交流（清久さくら祭り、いちょうの木まつり、ホットハートフェスティバル、いちょうの木だよりの発行等）

・以下の取り組みをとおり、地域との交流を深める努力を行いました。

- 清久さくらまつり（自主製品販売）
- 人権の集い（作品展示 ※久喜地区、鷲宮地区、菖蒲地区）
- いちょうの木まつり（自主製品販売、模擬店、バザー、ステージ発表等）
- ホットハートフェスティバル（自主製品販売）

- 障害の日記念事業 (自主製品販売)
- いちょうの木だより (年4回発行)
- 清久コミュニティ協議会 (年4回 ※地区の除草、防災訓練)
- 73区自主防災協議会 (防災訓練、区民まつり)

・いちょうの木まつりでは、法人内の他事業所や他法人の事業所などにも参加してもらい交流を深める機会となりました。

(3) 余暇活動支援 (季節行事、レクリエーション、誕生祝い等)

①季節行事・全体レクリエーション

| 月別 | 内容 |
|-----|---|
| 4月 | 全体レク ①箱運びリレー ②ドリブルリレー ③大玉転がしリレー |
| 5月 | 全体レク ①台風ゲーム ②バケツ運びレース |
| 6月 | 全体レク ①車椅子競争 ②仮装リレー ③玉入れゲーム |
| 7月 | 選択レク |
| 8月 | 七夕納涼大会 |
| 9月 | 小旅行 葛西臨海水族園 |
| 10月 | いちょうの木まつり |
| 11月 | 全体レク 着せ替えゲーム |
| 12月 | クリスマス忘年会 |
| 1月 | 新年会 |
| 2月 | 選択レク ①卓球バレー ②TVゲーム・卓上ゲーム ③グランドゴルフ 節分 |
| 3月 | ひな祭り、親子交流会 (シンガーソングライターを招いてのコンサート) |

②誕生祝い

- ・朝会後に誕生者の紹介と保護者会からのプレゼントの贈呈を行いました。誕生者の誕生日の昼食メニューは、本人の希望のメニューを提供しました。
- ・誕生月には、誕生者の希望を聞いて小人数での外出等を企画しました。

(4) 相談援助支援 (利用者、家族との個別相談)

毎日の関わりの中で話し合える関係づくりを心掛けて対応しました。活動内容で留意してもらいたいことや家庭での困りごとなどを聞き取り、適切な支援に努力しました。また、「サービス要望書」による聞き取りや個別支援計画書の説明時に聞き取りを行い、改善策を講じて対応しました。要望の傾向としては、「健康管理に関すること」や「ADLの維持、向上に関すること」「楽しみのある活動」への意見・要望が多くありました。出された要望については、職員全体で共有し必要に応じて会議等で検討し、要望に応じるための取り組みを行いました。

(5) 健康管理支援（日常健康支援、内科・精神科嘱託医訪問、健康診断）

- ・健康診断を年2回行いました。所見のあった利用者については、家族と相談し活動の見直しや医療機関との連携を行い必要な医療的支援のサポートを行いました。
- ・内科嘱託医による講話の研修会を行いました。保護者9名と職員2名が参加し支援の参考としました。

(6) その他（見学者、実習生、ボランティア受け入れ、職員研修、安全管理）

①見学者の受け入れ

| 月 日 | 所 属 | 人 数 |
|------------------|---------------------|------|
| 平成 28 年 5 月 21 日 | 福祉事業所職員 | 2 名 |
| 平成 28 年 5 月 25 日 | 個人 | 1 名 |
| 平成 28 年 5 月 29 日 | 個人 | 1 名 |
| 平成 28 年 7 月 11 日 | 埼玉葛北合同説明会 | 9 名 |
| 平成 28 年 7 月 25 日 | 個人 | 1 名 |
| 平成 28 年 7 月 27 日 | 騎西特別支援学校（生徒、保護者・職員） | 9 名 |
| 平成 29 年 2 月 1 日 | 久喜特別支援学校（生徒・教員） | 20 名 |
| 平成 29 年 2 月 8 日 | 福祉事業所職員 | 2 名 |
| 平成 29 年 2 月 27 日 | 福祉事業所職員 | 2 名 |
| 計 | | 47 名 |

②実習生の受け入れ

| 学校等所属 | 内 容 | 期 間 | 人 数 |
|----------|---------|-------------------------------------|------|
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 5 月 23 日～平成 28 年 5 月 27 日 | 1 |
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 6 月 13 日～平成 28 年 6 月 17 日 | 2 |
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 6 月 27 日～平成 28 年 7 月 1 日 | 2 |
| 青山学院大学 | 介護等体験実習 | 平成 28 年 7 月 25 日～平成 28 年 7 月 29 日 | 1 |
| 明星大学 | 介護等体験実習 | 平成 28 年 8 月 22 日～平成 28 年 8 月 26 日 | 2 |
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 8 月 29 日～平成 28 年 9 月 2 日 | 1 |
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 9 月 5 日～平成 28 年 9 月 9 日 | 2 |
| 久喜看護専門学校 | 看護実習 | 平成 28 年 10 月 11 日～平成 28 年 10 月 14 日 | 1 |
| 関東短期大学 | 保育実習 | 平成 29 年 2 月 6 日～平成 29 年 2 月 20 日 | 1 |
| 関東短期大学 | 保育実習 | 平成 29 年 2 月 27 日～平成 29 年 3 月 13 日 | 1 |
| 計 | | | 14 名 |

③研修生の受け入れ

- ・久喜市新規採用職員体験研修 平成 28 年 11 月 24、28、29 日（各 2 名）
- ・久喜けいわ 平成 29 年 1 月 23 日（1 名）

④職員研修の実施

ア、外部研修

| 研修名 | 主催 | 期日 | 参加者 |
|---------------------------------------|-------------------|-------------------------|-------|
| 障害者相談支援従事者 初任者研修及びサービ ス管理責任者等研修 | 埼玉県 | 平成28年6月1、9日 | 吉田、平山 |
| 通所事業所部会研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 平成28年7月1日 | 宮田 |
| 関東地区知的障害者福 祉関係職員研究大会 | 関東地区知的障害者 福祉協会 | 平成28年7月14、15日 | 中村、吉田 |
| 障害者相談支援従事者 初任者研修 | 埼玉県 | 平成28年6月21日 7月21、22日 | 平山 |
| 改正社会福祉法セミナー | 埼玉県発達障害福祉協会 | 平成28年8月5日 | 中村 |
| サービス管理責任者初 任者研修 | 埼玉県 | 平成28年9月21日 12月21、22日 | 吉田 |
| 差別解消法に係る民間 事業者向け説明会 | 久喜市 | 平成29年1月23日 | 吉田 |
| 施設長及び幹部職員研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 平成29年1月27日 | 中村 |
| 実践交流会 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 平成29年2月17日 | 鈴木 |

イ、内部研修

| 研修名 | 期日 | 参加者 |
|-----------------------------|-------------|-------------|
| ニーズに沿った実践のために | 平成28年4月21日 | 常勤職員 |
| 知的障害への理解と 行動障害の支援について | 平成28年5月9日 | 常勤職員 |
| 新任職員研修 ～知的障害の基礎知識について～ | 平成28年7月7日 | 宮田、大原、大津 |
| 安全運転研修 | 平成28年8月26日 | 全職員 |
| 救命救急講習 | 平成28年8月27日 | 吉田、宮田、大関、大原 |
| 理事長講話 ～啓和会の成り立ちについて～ | 平成28年9月15日 | 常勤職員 |
| 内科講話 ～便秘対策について～ | 平成28年11月24日 | 平山、 |
| 虐待防止研修 ～他法人の取り組みから～ | 平成28年12月5日 | 中村、吉田 |
| 介護援助技術向上研修 | 平成29年1月18日 | 全職員 |
| 利用者に寄り添うということは ～感覚過敏の理解～ | 平成29年1月24日 | 常勤職員 |
| 虐待防止研修 ～グレーゾーンについて～ | 平成29年2月20日 | 常勤職員 |

| | | |
|---------------------------|------------------|-------|
| 虐待防止研修 ～援助者の怒りのマネジメント～ | 平成 29 年 3 月 10 日 | 常勤職員 |
| 歯科講習 | 平成 29 年 3 月 16 日 | 中村、宮田 |

③安全管理

避難訓練を 3 回実施しました。消火訓練には利用者も参加してもらい、防災に対する意識と消火方法について学びました。

- ・平成 28 年 7 月 26 日 竜巻災害想定（通報訓練・避難訓練）
- ・平成 28 年 11 月 28 日 火災災害想定（総合訓練 ※消防署立ち会い）
- ・平成 29 年 3 月 29 日 地震災害想定（総合訓練 ※消防署立ち会い）

4. 自主事業

(1) 送迎サービスの実施

今年度より公用車 3 台による送迎サービスの実施を行い、運転業務を専任の職員を 2 名採用しました。利用されている人は 28 名でしたが、利用者の重度化や家族の高齢化を考えると送迎サービスの需要は高いため、要望に対する実現の工夫が今後の課題です。

(2) 土曜開所

利用の実績状況については下表の通りです。

| 月別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 利用人数 | 27 | 28 | なし | 25 | なし | 26 | 27 | 27 | 25 | なし | なし | 27 | 212 人 |

(3) 久喜市日中一時支援事業

- ・毎週定期的に利用されている利用者の支援として、他事業所のサービスの併用（就労継続支援 B 型事業所）の取り組みを支援センター、久喜市障がい者支援課と連携をして取り組みました。本人の特性に応じた支援が多様的に行えることで、不安減少と意欲の向上につながり、安定した生活を送れるようになってきました。

- ・利用実績については下表の通りです。

| 月別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|------|
| 利用人数 | 4 | 2 | 3 | 4 | 5 | 3 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 47 人 |

(4) 夏季期間中の開所

夏季期間中の利用の実績状況は以下の通りです。

- ・8 月 15 日（月） 30 名
- ・8 月 16 日（火） 30 名

(5) 時間延長受け入れ

送迎時間の変更により 16:30 頃まで利用される人が増えたため、正式な時間延長希望者は把

握できませんでしたが、16:30以降の時間延長希望者は5名でした。

(6) 歯科検診・ブラッシング指導

11月17日にのぞみ園と合同で実施しました。検診を受けた利用者は22名、同席された保護者は7名でした。また、3月16日に行われた歯科医師による歯科講習会には職員と一緒に利用者2名が参加し口腔衛生に関する意識の向上を図りました。

(7) 作業療法士訪問指導

9月と3月に訪問してもらい、個別による身体機能の評価や適切で効果的なアプローチの在り方について相談し、アドバイスを頂いて毎日の支援に取り入れました。

【重点事項】

1. 人権尊重とプライバシー保護の堅持

職員による毎日の打ち合わせ時に支援の振り返りを行いました。適切な支援ができたかどうかの点検を行い、支援の質の向上と権利擁護に関する意識づけの習慣化を図りました。また、職員会議等で障がい者虐待の内部研修等を実施して見識を高めることを徹底しました。

2. 活動内容の再検討

全体の課題として、送迎の実施による日課の見直しに必要性が生じたため、検討を行いました。個人の強みを生かせるようにグループ編成の見直しや活動場所の変更などについて協議しました。来年度も引き続き、検討を重ね効果的な取り組みを目指していきます。

3. 職員の能力育成

OJTを中心に職員の能力育成に努めました。新任者には、定期的な面接を行い一緒に課題や評価を確認しながら仕事に前向きに取り組んでいけるような機会をつくりました。また、職員個人の適性を見ながら能力を十分に発揮できるような体制づくりを心掛けました。個人が受け持った役割については、実施後の振り返りを行い、他職員からの意見を聞きとることで気づきを学ぶ機会をつくりました。